

事業優先順位		1 細事業:がん検診事業				整理番号	03				
目的	がんを早期に発見し、早期治療に結びつけることにより死亡率の低下を図るとともに、がん予防の啓発及び知識の普及を図る。										
目標	①胃がん検診:問診、胃部X線撮影(8方向)の検診を行う。②肺がん検診:問診、胸部X線直接撮影(1方向)、喀痰細胞診検査(3日間)を行う。③大腸がん検診:問診、便潜血反応検査(2日法)を行う。④乳がん検診:問診、視診、触診、乳房X線撮影を行う。⑤子宮頸がん検診:問診、視診、内診、細胞診を行う。市民にがん検診の必要性や有効性を理解してもらいひとりでも多くの方にがん検診を受診してもらい受診率の向上をめざす。										
事業実施主体	委託	事業開始年度	昭和60年度	根拠法令	健康増進法						
事業費・財源			平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数			平成24年度	比較		
	事業費(決算額)(千円)		185,316			総コスト(千円)			201,980		
	財源内訳	一般財源	171,597			内訳	事業費			185,316	
		国府支出金	10,005				人件費			16,664	
		地方債	0				公債費			0	
		胃がん検診等負担金	3,701				一人あたり(円)			1,789	
		行動変容推進助成金	13				世帯あたり(円)			4,283	
			0			参考	職員数(人)			2.10	
			0				再任用職員数(人)			0.00	
今後の方向性	がん検診の必要性や有効性を理解してもらうため、地域と連携し啓発していく。										
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	①胃がん検診:40歳以上の市民、約7,100人②肺がん検診:40歳以上の市民、約1,500人③大腸がん検診:40歳以上の市民、約9,300人④乳がん検診:40歳以上の女性市民、約4,400人⑤子宮頸がん検診:20歳以上の女性市民、約3,400人						
	A	A	B								

事業優先順位		3 細事業:歯科検診事業				整理番号	04				
目的	①歯周疾患検診:高齢期に自分の歯を十分に保有し、食べることができるように歯の喪失の予防を図る。 ②在宅寝たきり老人等訪問歯科健診:在宅で寝たきり状態にあり、歯科医院への受診が困難な人に対して歯科医師及び歯科衛生士が訪問し、歯科疾患の予防及び早期発見、日常生活における口腔内清掃についての正しい指導を行い、もって健康の保持・増進を図る。										
目標	在宅における寝たきり老人等を対象に、歯科医師及び歯科衛生士等が訪問し、問診、未処置歯の有無、未処置歯の補綴の必要性、顎関節の状況、歯周病疾患検査、口腔衛生検査、入れ歯の状況、動揺歯の状況、治療の必要性等の検査をするとともに、適切な保健指導を行う。 健康の保持・増進を図る。										
事業実施主体	委託	事業開始年度	平成11年度	根拠法令	健康増進法						
事業費・財源			平成24年度	比較	コスト情報・従事職員数			平成24年度	比較		
	事業費(決算額)(千円)		8,439			総コスト(千円)			9,233		
	財源内訳	一般財源	6,254			内訳	事業費			8,439	
		国府支出金	2,185				人件費			794	
		地方債	0				公債費			0	
		その他特定財源	0				一人あたり(円)			82	
			0				世帯あたり(円)			196	
			0			参考	職員数(人)			0.10	
			0				再任用職員数(人)			0.00	
今後の方向性	今後も引き続き、市民に歯周疾患検診の必要性、口腔保健状態の確保と日常生活における生活の質の向上について理解してもらうために啓発していく。										
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	当該年度において、満40歳・50歳・60歳・70歳になる市民 在宅における寝たきり老人等						
	A	A	B								

細事業：がん検診事業

1. がん検診

がんの早期発見により、がん死亡率を減らすことを目的として胃・大腸・肺がん検診を40歳以上の市民、乳がん検診を40歳以上の女性市民、子宮がん検診を20歳以上の女性市民を対象に実施した。

＜がん検診の状況 実施機関／集団 保健センター・個別 医療機関＞ (単位：人)

項目	受診者数	異常なし	要精密検査	要精密検査結果別人数				
				異常なし	がんであった人	がん疑い	がん以外の疾患疑い	未確定
胃がん	6,417	5,745	672	26	9	2	424	211
大腸がん	9,593	8,782	811	80	18	3	195	515
肺がん (集団のみ)	1,251	1,251	0	0	0	0	0	0
乳がん	3,591	3,332	259	121	14	2	85	37
子宮がん (個別のみ)	2,926 内、体部受診 426	2,899	27	0	1	0	6	20

2. がん検診推進事業

特定の年齢に達した市民に対して、子宮頸がん検診・乳がん検診・大腸がん検診に関する検診手帳及び検診費用が無料となるクーポン券を送付した。

子宮頸がん検診 20歳、25歳、30歳、35歳、40歳の女性市民（平成24年4月1日現在）
 乳がん検診 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の女性市民（平成24年4月1日現在）
 大腸がん検診 40歳、45歳、50歳、55歳、60歳の市民（平成24年4月1日現在）

3. がん検診個別通知による受診勧奨

特定の年齢の市民に対して、受診促進を目的にがん検診に関する情報提供とがん予防のための啓発を行った。

対象者は当該年度に43歳、48歳、53歳、58歳になる市民（6,053人）

細事業：歯科検診事業

1. 歯周疾患検診

高齢期における健康を維持し、食べる楽しみを享受できるよう、歯の喪失を予防することを目的に、当該年度に40・50・60・70歳になる市民を対象に歯科医療機関で検診を実施した。

(単位：人)

項目	受診者数	異常なし	要指導	要精検
歯周疾患検診	1,006	86	83	837

2. 在宅寝たきり老人等訪問歯科検診

在宅寝たきり老人等、医療機関で歯科健康診査受診が困難な市民を対象に、口腔機能の回復を図り、訪問歯科健診の普及と定着を図るため、歯科健康診査事業を実施した。

実施機関／歯科医療機関（訪問）
 受診者3人（要精検者3人）